

研究課題名	HBV 再活性化例の予後調査（介入投与された核酸アナログ中止後の経過を含めて）
研究の意義・目的	B型肝炎ウイルス(HBV)再活性化を発症した患者さんの予後や治療で投薬された抗HBV剤のその後の継続状況を調べます。この結果からHBV再活性化対策を評価し、再活性化した患者さんへの対応策の修正・改善に役立っています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ <u>2027年12月</u>
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2007年4月1日～ <u>2025年12月31日</u> に大阪公立大学医学部附属病院にて、免疫・化学療法を実施した後にHBV再活性化を発症した（入院 or 通院）患者さまが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	1) 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 2) 過去にご協力いただいた研究（「HBV再活性化に対する調査・予防に関する研究」承認番号1243）でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、血液検査データ、画像検査データ】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、国立国際医療センターに頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名 ○内は各施設の研究責任者です。 国立国際医療センター（溝上雅史）、大阪公立大学（田守昭博）
試料・情報を管理する責任者	代表研究期間の名称・所属・研究代表者：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究責任者 田守昭博
本研究の利益相反	本研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業はありません。利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-4-3, 06-6645-3905 大阪公立大学 大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 田守昭博